

ごのへ夏まつり会場にて

小学生サッカーチーム選手ら「リフティング
パフォーマンス」に挑戦



ごのへ夏まつりでプロパフォーマンスチームのStylersが
“サッカーリフティングパフォーマンス”を披露。
子どもたちも参加して指導を受けました。

関連記事…2ページ

◆主な内容◆

- ・ごのへ夏まつり ————— ②
- ・町議会 第14回臨時会 ————— ②
- ・交通事故をなくすために ————— ③
- ・新型インフルエンザの医療体制変更 — ④
- ・グリーンツーリズム体験メニュー — カレンダー裏面
- ・国際見聞録シリーズ ————— ⑦
- ・海外体験レポート ————— ⑧
- ・(財)スポーツ振興公社職員募集 ————— ⑩
- ・プレミアム商品券の使用期限 9/30 ——— ⑪
- ・郷土探訪「ふるさとの民俗信仰⑤」 ——— ⑫



「みちのく少年サッカー大会」

県内外から14の小学生チームが参加。元気いっぱいのプレーに盛んな声援が送られていました。



「ハーレー試乗会」

会場内では、大型バイク・ハーレーダビッドソンの試乗会も行われ、親子連れに人気を博していました。試乗会の益金は、東北ハーレー会青森県ハーレーダビッドソンクラブの善意により、社会福祉団体に寄付されました。



「地元バンド(アイリスリバー)ら熱演」

特設ステージでは、ロックバンド、歌謡やサッカーリフティングのパフォーマンスなどバラエティに富んだステージが繰り広げられました。

サッカー大会、倉石牛、子どもあそびの広場などでにぎわい

「ごのへ夏まつり」2,300発花火 観客を魅了

今年で5回目となる「ごのへ夏まつり」が8月8日と9日の2日間、ひばり野公園で開催されました。



うちわ作り



フラフープ転がし

「子どもあそびの広場」

昔懐かしい「竹水鉄砲」や「うちわ作り」、「紋切りあそび」、「竹馬」などが用意され、親子でにぎわいました。



竹水鉄砲



「花火大会」

あいにく濃霧でしたが、野球場で間近に見た迫力の花火に歓声が上がりました。

議会ニュース

町臨時議会(第14回)が7月6日、1日間の会期で開催されました。今回の議会で可決された2件の議案のうち、主なものを紹介します。

▼財産の取得について

五戸町消防団第10分団(切谷内)の消防ポンプ自動車購入に当たり、指名競争入札の結果、互光産業株式会社と1,785万円で物品売買契約を締結しました。

▼平成21年度補正予算

・一般会計(第3号補正)

歳入歳出それぞれ3億7,767万5千円を追加し、予算総額を89億5,013万7千円としました。経済危機対策における国の補正予算に伴うもので、主な追加は次のとおりです。

◎五戸町消防団第3分団(新町) 屯所新築設計監理業務委託料および工事費 2,196万円

◎町道測量設計業務委託料および舗装・維持修繕工事費 6,400万円

◎管内小・中学校施設工事設計監理業務委託料および工事費 2,138万円

◎ひばり野公園修繕工事設計業務委託料および工事費 4,902万円

◎町立公民館舞台照明改修設計監理業務委託料および工事費など 9,398万円

◎公共施設地上デジタル放送対応化工事費およびテレビ購入費 1,074万円

◎五戸町・新郷村地域商店街活性化事業補助金 510万円

◎五戸総合病院改革プラン支援事業負担金

5,000万円

◎子育て応援特別手当 1,440万円

◎管内小・中学校の校務用パソコン・プリンター 1,897万円

交通事故をなくすために



大会終了後、町内をパレードする参加者

「夏の交通安全県民運動」が、7月21日から31日までの11日間実施されました。

▼運動初日に開催された「五戸地区交通安全総決起大会」には、交通安全協会、交通指導隊、交通安全母の会、交通安全団などの関係団体から約300人が参加しました。

大会では交通事故犠牲者への黙とうに続き、三浦俊哉五戸地区交通安全協会会長らがあいさつ。五戸小交通少年団が安全の誓いを行い、事故防止への決意を新たにしました。

その後、参加者は五戸小金管バンドを先頭に町中心部をパレードし交通安全を呼び掛けました。

「夏の交通安全県民運動」が、7月21日から31日までの11日間実施されました。



靴に反射材を貼付して安全を呼び掛ける推進委員

▼7月23日、五戸地域交通安全活動推進委員協議会(沢口繁会長)では、浅田地区の高齢者宅を訪問。反射材やチラシを渡して「道路を渡る時は、左右を十分確認してください」などと呼び掛けました。



道路に出る時は左右をよく確認してね

▼豊間内地区では7月28日、「高齢者交通安全教室」が開催されました。20名余りの高齢者が、電動車イスの安全な乗り方を、実際にコースを走って学びました。

過去10年間の交通事故発生状況 (五戸警察署管内)

年	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数(件)	93	84	80	82	100	75	65	64	60	63
死者(人)	6	3	2	1	7	4	2	1	1	0
傷者(人)	111	117	92	110	130	92	85	77	74	77



安協青年部による街頭キャンペーン

▼7月21日、五戸地区交通安全協会青年部(舛沢和也部長)では、国道4号の扇田駐車帯で道行くドライバーに冷たい飲み物と交通安全うちわ、パンフレットを配り安全運動を呼び掛けました。

改正交通法(施行令)のポイント 平成21年6月1日施行

飲酒運転 免許一発取り消し



飲酒運転がらみの違反点数が大幅アップ!

酒酔い運転やひき逃げ等の悪質・危険な違反を行った運転者について、免許取り消し後の欠格期間の上限が5年から10年に引き上げられました。

酒酔い運転

「酒酔い運転」とは、酒に酔った状態(アルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態)で車両を運転する行為。

改正前 **25点** ▶ 改正後 **35点** **取り消し**

酒気帯び(0.25mg以上)運転

「酒気帯び(0.25mg以上)」とは、呼気1ℓ中のアルコール濃度が0.25mg以上をいう。

改正前 **13点** ▶ 改正後 **25点** **取り消し**

酒気帯び(0.25mg未満)運転

「酒気帯び(0.25mg未満)」とは、呼気1ℓ中のアルコール濃度が0.15mg以上0.25mg未満をいう。

改正前 **6点** ▶ 改正後 **13点**

酒気帯び(0.25mg未満)は一発取り消しとはならないものの、もし、過去1年以内に2点以上の累積点数があれば…

2点 + 13点 = 15点 **取り消し**
累積点数

新型インフルエンザに係る医療体制が変更になりました！

インフルエンザ様症状の患者の医療機関受診フロー図

- 新型インフルエンザは、季節性のインフルエンザと同じく**一般の医療機関でも受診できます**ので、下記の手順で受診してください。
- インフルエンザ様症状で、医療機関を受診するときは、**必ず、事前に電話し**、医療機関の指示に従って受診してください。

発熱やせきなどの**インフルエンザ様症状**がある方

いつも、かぜや慢性疾患などで、受診している医療機関がある

はい



いいえ

**受診する医療機関
(かかりつけ医など)**

へ、電話して
から受診する。



受診する医療機関
が分かった

①自分で、インターネットや電話帳などで、受診する医療機関を調べる。
(青森県ホームページの「救急医療情報」をクリックすると、あおり医療情報ネットワークで、医療機関を探ることができます。)

②自分で、インターネットなどで調べることができない方は、最寄りの保健所へ電話する。
※保健所が医療機関をお知らせします。

◆八戸保健所 0178-27-5111

◆夜間・休日の医療機関情報

フリーダイヤル 0120-733620

医療機関から保健所への
相談を勧められた

【医療機関から保健所への相談を勧められた方】

新型インフルエンザは、季節性インフルエンザと同じく、一般の医療機関でも診療できますが、医療機関から、保健所へ相談するよう勧められた方は、保健所へご相談ください。

インフルエンザ様症状があつて、一般の医療機関が対応できない場合には、新型インフルエンザ外来（他の患者さんと接触しないで診療できる医療機関）を紹介します。

【参 考】

インフルエンザ様症状とは、「38度以上の熱」に加え、「鼻汁または鼻づまり」「のどの痛み」「せき」のどれか1つの症状がある場合とします。



新型インフルエンザに関する情報

青森県庁ホームページ「新型インフルエンザ対策について」

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html

問い合わせ先 五戸町役場福祉保健課 62-7958 (直通)



● 第33回五戸町老人スポーツ大会
熱戦の末 豊間内地区が優勝

このほど、町老人スポーツ大会（町老人クラブ連合会、町スポーツ振興公社共催）が五戸ドームで開かれ、町内6地区、約180人が参加しました。

缶釣り競争や風船リレー、玉入れなど11種目で熱戦が繰り広げられ、豊間内地区が2年ぶりの優勝を飾りました。



● 虫送り祭り
五穀豊穣願い込め

このほど豊間内地区コミュニティ実行委員会による「虫送り祭り」が行われました。参加した住民らは、豊間内、志戸岸の2地区の神社を参拝し、小学生による鼓笛隊演奏を奉納。緑鮮やかな田んぼ道を「悪虫退散」などののぼりをなびかせて歩き、豊作などを祈願しました。



● 青森県少年野球大会三戸郡予選
五戸東スピリッツ優勝

第40回青森県少年野球大会三戸郡予選、児童の部で優勝を遂げた「五戸東スピリッツ」がこのほど、町役場を訪問し県大会への出場を報告しました。角浜輝キャプテン（切谷内小6年）は「しっかり守って、しっかり打って勝ち進みたい」と力強く抱負を述べました。



● 第30回五戸町長杯サッカー大会開幕
2ブロック15チームが激突

町長杯争奪町民サッカー大会の開会式が7月16日、ひばり野公園で行われました。開会式では前田巧さんが選手宣誓しフェアプレーを誓いました。大会には15チームが参加し、2ブロックに分かれて9月末まで約2か月にわたる熱きゲームを展開しています。



● 田植え・田ノ草取り唄と踊り
町連合婦人会で伝統継承

明治天皇の東北巡幸を記念した五戸町連合婦人会（鳥谷部富子会長）による「田植え・田ノ草取り唄と踊り」の奉納が7月12日、歴史みらいパーク代官所前で行われました。1978年に踊りを復活させて以来、早乙女姿で舞う優雅な踊りで町民らを楽しませています。



● 東北各地から768人参加!
東北ブロックグラウンドゴルフ交歓大会

第21回東北ブロックグラウンド・ゴルフ交歓大会が7月18、19日、小渡平公園で行われ、東北各地から参加した768人が自慢の腕を競いました。個人の部ではプレーオフの末、五戸町グラウンド・ゴルフ協会の西野はやさんが優勝しました。

親元を離れ自立・協力 上市川小通学合宿

このほど上市川小学校（石亀政宏校長）の5年生19人が北市川自治会館を拠点として、2泊3日の通学合宿を行いました。親元を離れ仲間と寝食を共にしながら通学することで自立心を養い、連帯感を深めることを目的として今回で4回目の実施。住民らで組織する実行委員会（田代務委員長）らが企画運営しました。

児童は委員に手伝ってもらいながら慣れない手付きで鶏汁やカツカレー作りに挑戦。食後は、地域住民からお手玉おぼじき、めんこなど昔の遊びを教わりながら触れ合いの時間を過ごしました。



手伝ってもらいながらカツカレーを作る児童

「防犯支援自販機」 2台目設置



五戸警察署長と五戸地区防犯協会役員

五戸署管内で2台目となる「安全・安心まちづくり支援自動販売機」がこのほど、地藏尊入口の駐車場に設置されました。

自販機は、地域の防犯活動に役立ててもらおうと、みちのくコカ・コーラボトリング青森県本部が五戸地区防犯協会に無償貸与し、売上金の一部が同協会の活動資金に充てられます。

昨年11月には1台目が尾形精肉店駐車場に設置され、今回で2台目。この日は五戸署の田中正義署長や同協会員らが出席して自販機の設置を喜び合いました。

AED操作法を学習 放課後児童クラブ指導員

このほど放課後児童クラブ指導員13人が、自動体外式除細動器（AED）の操作法を学び、児童のプール遊泳時の事故などに備えました。

この日は、五戸消防署員2人が指導。参加者はAEDの自動音声アナウンスに従って操作に挑戦。ダミー人形に電極パットを張り、周囲の人を遠ざけるなどの手順を確認。患者の反応確認の後、人工呼吸、心臓マッサージによる心肺蘇生法に真剣に取り組みました。このほか、児童のけがの対処方法や鼻血の止血方法などを熱心に学びました。



心肺蘇生法を学ぶ参加者

文芸ごのへ

〈川柳〉

尻を放って花火とずれた問のわるさ 善太郎（五戸町）
定年後果樹の作業は妻に聞き 本田 昭雄（館町）
趣味ひとつ老後の種をまいておく 佐々木はるの（中市川）
農に生き土に親しむジジとババ 沢田 良子（上市川）

〈俳句〉

蝉時雨今聞く事なき寂しさよ 鳥谷部せぬ（ひばり野）

〈短歌〉

初めての八戸博物館に入り友と並び 橘 ミネ子（北市川）
縄文晩期の合掌土偶見ゆ
鹿島（茨城）に住む病に伏せす弟を 藤村 ナヲ（鍛冶屋窪）
便りで見舞う遠きが故に
朝顔の伸びたる蔓をていねいに 田代十志男（上市川）
竿からませ花咲くを待つ

●皆さんの作品を「文芸ごのへ」に発表してみませんか。川柳・短歌などの区別を明記し、総務課広報係へ。お待ちしております。



五戸総合病院

地域総合医療の拠点に

148

●五戸総合病院医師一覽表(9月)

診療科	内科		産婦人科	小児科	整形外科	脳神経外科	眼科	耳鼻科	皮膚科
	副院長	科長							
職名	新井田修久	岡本一雄	副院長	科長	科長	科長	非常勤	非常勤	非常勤
医師名	濱館 貴徳	田口 順	東山 明弘	三浦 昌人	大根田 昭	蝦名 宣男	田邊 淳	荒木 孝明	井戸川敏彦
備考	火曜日	金曜日	1日・15日	金曜日	火曜日	金曜日	火曜日	土曜日	月・木曜日

※発熱・咳などの症状がありましたら、必ずマスクの着用をお願いします。

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、休日、祭日および診療時間外に救急外来を受診される方は、インターホーンでお知らせください。

●7月の診療科別患者数

区分	診療科	内科	外科	産婦人科	眼科	小児科	耳鼻科	整形外科	脳外科	皮膚科	計
		患者数	外来 4,117 (4,091)	400 (459)	749 (684)	483 (371)	331 (361)	684 (601)	1,957 (1,889)	783 (770)	254 (231)
	入院	2,969 (2,891)	220 (240)	278 (402)	0 (0)	69 (63)	0 (0)	613 (432)	317 (523)	0 (0)	4,466 (4,551)
4月からの延患者数	外来	15,980 (16,160)	1,498 (1,777)	2,937 (2,605)	1,990 (3,214)	1,605 (1,470)	2,685 (2,411)	7,727 (7,532)	3,111 (2,956)	911 (983)	38,444 (39,108)
	入院	10,871 (11,340)	907 (915)	1,273 (1,336)	0 (66)	195 (181)	0 (0)	2,330 (2,174)	1,540 (1,790)	0 (0)	17,116 (17,802)

※ 入院 = 毎日24時現在の在院患者延数+毎日の退院者数 () = 昨年度同期

国際見聞録 シリーズ No.72

英語指導助手として町内の小・中学校などで英会話・英語指導をしたセスさん、メリサさん、ヘレンさんが故郷に帰国することになりました。

セス・ハラ

この小さな素晴らしい田舎町、五戸での経験は、永遠に私の中に残ることでしょう。



秋には手作りもちを頂き、冬には美しい雪山、春には黄緑色に覆われた田圃、そしてもちろん馬肉や馬刺しは一年中頂いたことを決して忘れません。でも、最も心に残っているのは五戸町の皆さんの温かい心遣いと子どもたちの笑顔です。

日本人の血が混じっている私にとって、この1年は自分のルーツを見つめるという点で大切でしたが、何よりも素晴らしいのは子供たちと一緒に過ごしたことです。五戸でさまざまなことを学び、いろいろと助けていただきました。素晴らしい1年を過ごさせていただき、本当にありがとうございます。

メリサ・ナイ

五戸町に来る前に日本語が分からなくてとても緊張しました。でも皆さんと仲良くなるうちに一人一人がとても面白く、賢く、いろいろなことに頑張っていると分かりました。生徒は一生懸命頑張りましたので、教えることが楽しかったです。皆さんから日本語や日本の習慣を教わり、とても助かりました。先生方はいつも温かい気持ちで見守ってくださって全員に感謝しています。とてもお世話になりました。五戸で過ごした日々は忘れません。



ヘレン・ブリジェス

日本に来た時に、全てが新鮮でした。初めてタコを食べ、初めてスキーに行き、初めて山に登りました。特に五戸町の子どもと授業をしたことは今でもはっきりと覚えています。私は英語を教えた以上に、子どもたちから日本語を習ったようです。外国語を話せれば喜びは大きいです。ある程度は誰でも英語を話せるようになりますが、本当に上達するには、時間をかけて勉強するしかないでしょう。皆さん、本当にありがとうございました。





イギリス



町の海外派遣研修事業（江渡恭助人材育成基金活用）で木村あかねさん（筑波大学在学、下大町）が、3月9日から3月31日までの日程で世界5か国を訪れました。7月号からシリーズでレポートを紹介しています。

テーマ：[園芸と暮らし]

昔から園芸が暮らしに溶け込んでいるイギリス。大きな英国式庭園や個人の庭から、イギリス人の園芸に対する愛着・取り組みを探る。

★フラワーマーケットについて

毎週日曜日にコロンビアロードで開かれる「コロンビアロードフラワーマーケット」。多くの人で賑わい、大きいショッピングバックやスーツケースで花木を買い求めていた。このようなフラワーマーケット以外にも街中に花屋を多く見かけ、女性のみならず男性も花を買っていたのが印象的であった。

★イギリス人のおばあさんの話

ロンドン郊外に住むおばあさんから園芸についてお話を伺った。彼女は、子供のころ父から園芸のいろはを学んだが、始めはまったく興味がわかなかったと言う。しかし、独立し自分自身の家と同時に庭を持ったとき本格的に園芸に力を入れ始めた。イギリスでは、家を買うときに小さくても庭を持つそうだ。彼女の家では、庭に果物の木をたくさん植え、外壁はバラでいっぱいになっているそうだ。また、花の育種も行っておりオリジナルの花を作っては楽しんでいるという。このように園芸で楽しんでいるのは彼女のみならず他のイギリス人も同様で、庭が荒れて

いる家があると、そこに住む家族が心配になるそうだ。彼女は、自宅の庭以外にも街にある庭園や花にあふれる公園で読書や散歩を楽しんでいる。

彼女は、これらのことを楽しそうに笑顔で話し、園芸がイギリス人の生活の一部になっていることを実感した。



コロンビアロードのフラワーマーケット



イタリア

テーマ：[食と文化]

イタリアは温暖な気候のため、さまざまな農作物を栽培することが可能である。この恵まれた気候の中で生まれた多彩な食文化、その昔ながらの食文化を守ろうというスローフード。イタリア人の暮らしからこれらを学ぶ。

★市場

いたるところに市場や果物、野菜を取り扱う店があるイタリア。イタリアの国民1人1年当たりの果物消費量はドミニカ共和国に次ぎ2位で、日本の4倍の消費量である。そんな果物好きのイタリアの市場には、今まで目にしたことの無い果物も多く、温暖で作物、

果物が生育しやすいイタリアの恵まれた環境を実感した。

★イタリア人も米を食べる

ローマで食べたリゾット。この国では米を食べる習慣がある。日本人が食べる米とは違いタイ米のような長粒種で、リゾットの中の米は硬めであった。

イタリアにおける水稻の栽培は15世紀の後半にはじまり、以来米の需要増加にともなって栽培面積が年々拡大。イタリア国内における米の消費量は年約400千tで、国民1人当たり6kgといわれ、稲作農家では1人13kg程度と見込まれる。（日本は60kg以上）



市場に並ぶ野菜や果物



種類豊富な果物

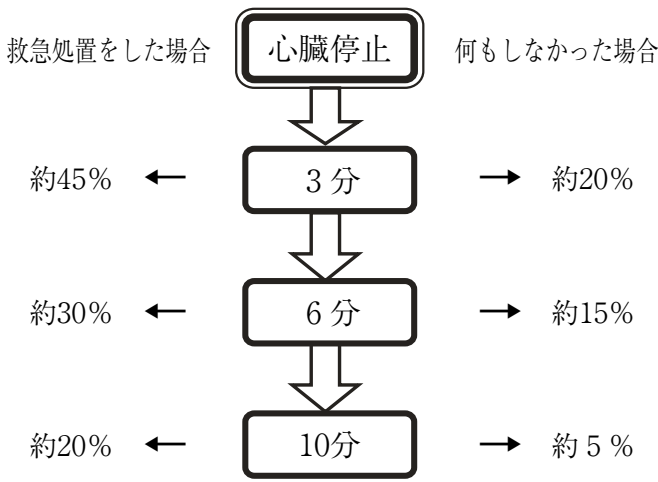


ローマで食べたリゾット

119番通報してから救急車が到着するまで

全国平均で約6分かかります

命の助かる可能性は時間とともに減少します



助かる命を助けるためには、救急車が到着するまでに
皆さんの勇気ある救命処置が必要なのです

「救える命」を救うためには、すべての場面で途切れることのない迅速な処置が必要です。「救命の連鎖」は、こうしたつながりの重要性を表したものです。事故や病気で倒れた人を救えるのは、目の前にいるあなたです。普段から応急手当を身に付けておきましょう。



「救命の連鎖」 (Chain of Survival)

- 早い119番通報：落ち着いて、はっきりと119番に通報
- 早い応急処置：救急車到着前の早い心肺蘇生と除細動
- 早い救急処置：救急救命士などの行う高度な救急処置
- 早い医療処置：医療機関における救命医療

除細動とは

心臓突然死の原因の8～9割を占めるといわれる「心室細動」は、心臓が異常に早く拍動し、心筋が震えているような状態をいいます。このような状態では心臓はポンプとしての機能を果たせず、全身に血液を供給できなくなります。

心室細動が起こった場合、自然に回復することは極めてまれです。唯一の治療手段は「除細動器」により体外から電気ショックを与え、心拍を正常に戻すことです。3分以内での素早い処置が救命の「カギ」となります。平成16年7月から、一般の方でも「自動体外式除細動器(AED)」を使って除細動を行えるようになりました。



AEDを使用した除細動と心肺蘇生

命を救うためには、心肺蘇生法と並行してAEDの取り扱いが必要です。五戸消防署では、救急講習会を随時受け付けていますのでお気軽にご相談ください。

雇用・資格

公社職員募集

●職種および採用予定人員

(財)五戸町スポーツ振興公社
職員 1人程度

●応募資格

昭和56年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた高校卒業以上(平成22年3月までに卒業見込み含む)の方

●受付期間

平成21年9月16日(水)から9月30日(水)まで
(午前8時15分～午後5時)

●試験期日および方法

・平成21年10月25日(日)
・受験者に直接通知

●受験手続

指定の受験申込書、履歴書・身上書は、必ず自書し、卒業証明書(卒業見込証明書)を添えて五戸町スポーツ振興公社(五戸ドーム)に提出してください。

※受験申込書等は、五戸町スポーツ振興公社にあります。
※五戸町スポーツ振興公社・

五戸町ホームページからもダウンロードできます。

〒039-11524

五戸町大字豊間内字地蔵平 1-398
(財)五戸町スポーツ振興公社
TEL 62-2301

町職員募集

●職種および採用予定人員

助産師・看護師 5人程度

●受験資格

昭和50年4月2日以降生まれで、助産師または看護師の免許を有する(平成22年5月31日までに取得見込み含む)方

●申し込み方法

受験申込書に履歴書、免許証の写し(または卒業見込み証明書)を添えて、五戸総合病院管理班に提出。

●申し込み期限

平成21年9月15日(火)まで

●試験の日時および場所

受験者に直接通知
採用時期
原則として平成22年4月1日付で採用予定

五戸総合病院 管理班
TEL 61-1200内線331

自衛官募集

●防衛大学校学生

○受験資格

21歳未満の高卒(見込み者)
第1次試験日
平成21年11月7日(土)
11月8日(日)

●防衛医科大学校学生

○受験資格

21歳未満の高卒(見込み者)
第1次試験日
平成21年10月31日(土)
11月1日(日)

●看護学生

○受験資格

24歳未満の高卒(見込み者)
第1次試験日
平成21年10月24日(土)

●受付期間

平成21年9月7日(月)から10月2日(金)まで

●問い合わせ・申し込み先

自衛隊八戸募集事務所
TEL 45-1920

放課後児童クラブ指導員募集

●採用予定人員 2人

●応募資格

町内在住でおおむね60歳までの心身ともに健康な方で特定の免許・資格は必ずしも必要ではありません。

●勤務時間

・月々金 14時～18時
・土・長期休業 8時～18時
※勤務日は交代制。日祝祭日、お盆、年末年始は休み。

●雇用期間

平成21年10月1日から平成22年3月31日まで

●賃金

児童にかかわる有資格者(教員・保育士など)
時給800円
その他 時給675円

●申し込み方法

9月17日(木)、役場3階
履歴書に必要事項を記入の上、役場福祉保健課に提出。
※用紙は役場福祉保健課・各支所にあります。
面接の期日・場所
〒62-2111内線139
TEL 62-2111

重度心身障がい者医療費受給者証の更新

現在お持ちの受給資格の有効期間は平成21年9月30日(水)までです。

受給資格登録の更新を希望する方は、更新手続きが必要です。

※該当する方には更新案内を郵送します。受給証等を持っていない方でも当てはまると思われる方はお問い合わせください。

◆受給者本人と世帯構成員の中で、今年1月2日以降に五戸町に転入した方は、前住所地市町村で発行する「平成21年度所得課税証明書」が必要です。

◆受給者本人と世帯員が未申告の場合は判定できません。必ず申告してください。

●受付日時 9月16日(水)～9月18日(金)まで

●受付場所 役場1階 福祉保健課

●問い合わせ先 役場福祉保健課 TEL62-2111内線138

農業

農業者年金加入について

新しい農業者年金は、自分の年金を自分で積み立てて受取る方式です。加入者・受給者の数に左右されにくい方式に変わりました。

加入できる方は次の①～③のすべてに該当する方で、女性も加入できます。

①国民年金第1号被保険者（国民年金加入者。保険料免除者は除きます）

②年間60日以上農業に従事

③20歳以上60歳未満

◆自分名義の農地を持っていない農業者や家族従業者も加入できます。

◆支払った保険料は、社会保険料控除の対象となり、節税につながります。

◆加入や脱退は自由です。支払った保険料は、将来年金として受け取れます。

◆農業の担い手となる方には、保険料の補助を受けられる場合があります。

問 農業委員会事務局
TEL 62-2111 内線272

県南果樹研究センター参観デー

●日時

平成21年9月9日(水)

午前9時～午後4時

●内容

果樹栽培相談、ブルーベリーの育て方講座、お楽しみクイズ、農産物加工品の展示即売、農業機械・資材・図書や場内生産物の販売など

●場所・問い合わせ先

大字扇田字長下タ2

県南果樹研究センター

TEL 62-4111

お知らせ

終戦当時の引揚者の方々へ

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。返還の申し出は本人だけでなく家族の方でも結構です。

・終戦後、外地から引き揚げた方が、上陸地の税関・海運局に預けた通貨・証券など
・外地の集結地で総領事館などに預けた証券などのうち、日本に送り返されたもの

問 八戸税関支署 TEL 33-0423

むつ小川原地域・産業振興財団の事業募集

財団では、県内各地の産業振興や地域づくりの取り組みに幅広く支援しています。22年度の支援事業を募集します。

●対象事業

①人材育成 ②技術開発 ③商品開発 ④市場・販路開拓 ⑤観光開発 ⑥環境整備 ⑦スポーツ・文化交流など

●助成金

事業費の4/5以内

●助成団体

県内の市町村、産業団体(農協、商工会など) 地域づくりグループ・組織など

●募集期間

平成21年9月1日(火)

～10月31日(土)

●助成金の決定

平成22年2月下旬

問(財)むつ小川原地域・産業振興財団

TEL 017-773-6222

URL <http://www.jomon.ne.jp/mozaidan/>

プレミアム商品券 使用期限 9月30日(水)まで!

4月21日から販売しておりました「プレミアム付き共通商品券」は、完売しました。ありがとうございました。商品券の使用期限は**平成21年9月30日(水)**です。購入された方は期限までにご利用ください。

問 五戸町商工会 TEL62-3151
五戸町商工会新郷支所 TEL78-2114

後期高齢者医療制度運営に関する『懇談会』委員の一般公募を行っています

◆応募期間 9月1日(火)～9月24日(木)

◆応募要領等の配布・問い合わせ先

・青森県後期高齢者医療広域連合 TEL017-721-3821

URL <http://www.aomori-kouikirengou.jp/>

・役場住民課国保班 TEL62-2111(内線115～117)

定額給付金の申請はお済みですか?

定額給付金の申請期限は**平成21年9月28日(月)**です。

まだ申請が済んでいない方は、申請書に振込先金融機関などを記入の上、**必要書類(通帳のコピーおよび本人確認書類のコピー)**とともに提出してください。9月28日を過ぎますと、受け取りを辞退したものとみなされますので、忘れずに申請してください。ご不明な点などがありましたら、役場企画振興課 (TEL62-2111) までお問い合わせください。

公民館の休館日変更

公民館の9月の休館日は9月28日(月)となります。

※通常の休館日(毎月第3月曜日)とは異なりますのでご注意ください。

問 町立公民館 TEL62-7976

郷土探訪

「ふるさとの民俗信仰・ふしぎ不思議⑤」

【田植えのエッコ】

五戸地方では田植えを「ごがつ」と呼び、旧暦五月が田植え時期だった。うつぎの花が咲く直前、コブシ（通称田打ち桜）の花が白く咲くと田植えの準備、そして一年間で最も重要な仕事の一つだ。

戦前は田の水口（みなくち）に供物をあげて拜む。苗代から取りたての苗を神棚に供えて拜んだりした。

（今は手植えをする農婦はほとんど見られない。さし苗をする程度。）

かつての手植え風景は多数の人が必要であり、集落や町の中の何軒かで構成するユイッコ（な

まっつてエッコ）というグループで共同作業をした。親類や知友人が四〜五軒の組を作り、順繰りに各家庭の田植えを行った。当番の家庭では昼食やこびり（中間食）を準備

するのが習わしだった。

田植えの役割分担では、苗を植えるのは主に女性で、ソドメ（早乙女）、苗代から苗を取る人はネドリ（苗取り）、苗を田まで運ぶ人はネシヨイ（苗背負い）、更に苗をソドメに配る人はタチト（苗運び）といった。

ネドリはこびりや昼休みに



35年前の五戸小学校の田植え風景

はドブロク（にごり酒）を飲みながら仕事をしたりする所もあって酔っぱらって苗取りが出来なくなったりする事もあった。

明治から昭和にかけて箱型定規、十間のハシゴ定規を使うグループもあった。

田の肥料は馬ふん、たい肥不足の農家はカツキ（木の葉や青草）を入れていた。

約二百年前、豪商藤田武兵衛が盛岡から自宅に帰った当日、五戸たんぼで田植えをしていた。

武兵衛は人手不足から水田で働く農婦にこびりを運んだ。途中、ひじ（ご飯を入れるおけ）のひもが切れ、大町中央でおにぎりが道路に転がり、そのおにぎりを武士姿の武兵衛と五戸代官所帰りの娘婿が拾っている姿を村民が見たと記録に残している。田植えの共同作業は藩政末期にもあった証である。

特に九割以上の村民は農業を営んでいたもので、戦後までエッコ（またはモヤエッコ）が通用し、昭和四十年代からは急速に田植え機械の導入が盛んになった。一反歩（十アール）が二十〜三十分で終わり、共同作業の昔言葉が死語に近くなっている。

【おしら様とは】

扇田・野沢の農家で「おしら様」を祭壇の高台に祀（まつ）っているのを見た。ざっと五十年前の話。一組二体の人形が祭壇から取り出される。

信仰心のない庶民は、人形を見て「インチキ人形」と陰口を言ったことを思い出す。しかし、農婦は大切にしたらしく、養蚕の神様二体を見せしてくれた。初めて見る人形は立派な衣装を着けていた。これが「おしら様」と説明したが、無関心な者には念佛に等しかった。



野沢で見たご神体

地方では農民ばかりでなく、工商人も桑を耕地に植え、不足の時は山桑まで採取した。

明治、大正、昭和初期まで馬の飼育とマユ玉の出荷が現金収入の目玉だった。昭和三十年代になつて養蚕は衰え「遠野物語」でもおしら様の由来を次のように述べる。

「百姓の娘が馬を愛し、馬と娘が生活を共にしたのを父親が怒り、馬を桑の木に繋ぎ殺して皮をはいだ。そして馬の皮と娘がマユになった。」と

いう伝説である。

この話は印度、中国、日本へ伝わり、青森県には江戸初期、五戸村にはいつ伝わったか不明。おしら研究の老人も五戸に居たが文章にはならなかった。

三浦 榮一

あたたかい善意

■人材育成基金として

五戸地方同郷会（泉山元会長）から3万円



㊦ 竹内良雄幹事 ㊧ 岡村悦雄幹事

町の人口

	(前月対比)
男	9,625人 (+2)
女	10,333人 (-17)
総人口	19,958人 (-15)
世帯数	6,965世帯 (+4)
平成21年8月1日現在	



この広報紙は植林・森林認証取得木材を配合した紙を使用しています

Green Tourism このヘグリーン・ツーリズム体験メニュー



◆五戸町はにんにく、ながいも、りんご、まぼろしの倉石牛など、里山・農村風景・農林畜産等幅広くグリーン・ツーリズムを体験できる所です。「よぐきたねしい〜」(方言でようこそおいでくださいましたの意)そんな言葉が日々の生活に活かされている郷で癒されませんか?
このヘグリーン・ツーリズム研究会

テーマ	開催日時	体験場所	内容	料金	問い合わせ先・申し込み先
① 小物作り体験	通年(水曜日休み) 11時~14時	五戸町 ジョアン	小物作り(ランチ付)	2,500円	古民家ギャラリージョアン(丸屋 米子) TEL:0178-62-5209 FAX:0178-62-3343 〒039-1524 五戸町大字豊間内字地藏平15-214 http://www.g.joan.com/
② 裂き織り体験	通年(平日のみ) 9時30分~12時	五戸町 移山寮	裂き織りでテーブルセンター作り時間の合間に農場見学が出来ます。2週間前までに予約必要(1日4人まで)	1,000円	移山寮 TEL:0178-62-6500 FAX:0178-62-4996 〒039-1545 五戸町字正場沢長根20-1
③ りんごジュース製造ライン見学	通年(土・日・祝祭日年末年始を除く) 9時~12時	五戸町 株式会社倉石地域振興公社	りんごジュースの製造工程を見学(りんごジュースのお土産付き)	300円	株式会社倉石地域振興公社 TEL:0178-77-3131 FAX:0178-77-3133 〒039-1701 五戸町大字倉石石沢字下雨原平99
④ りんご収穫体験	9月15日(火) ~11月10日(火)	五戸町 中市地区	りんごの収穫。品種は時期により、つがる・紅玉・ふじ・王林など。お土産付き	2,000円	浦屋敷 節男 TEL・FAX:0178-77-2791 携帯:090-2369-7986 〒039-1702 五戸町大字倉石中市字浦田35
⑤ 山ぶどう収穫体験	10月4日(日) 10時~13時	五戸町 中市地区	山ぶどう収穫の後、モーターパラグライダーの立ち上げ無料体験。山ぶどう300gお土産付き。味噌おにぎり作り	1,000円	手倉森観光農園(手倉森 一) TEL・FAX:0178-77-2332 携帯:090-4046-9162 〒039-1702 五戸町大字倉石中市字八久久保51-38
⑥ ヤーコン掘り取り体験	10月18日(日) 雨天時翌週 10時~13時	五戸町 石沢地区	ヤーコンの掘り取り(お土産1株付)試食・料理教室有。もっと欲しい方には格安でお分けします。	500円	五戸農林畜産観光協議会(三浦 一雄) TEL:0178-73-5244 FAX:0178-73-5635 〒031-0021 八戸市長者1-3-11
⑦ アピオス掘り取り体験	11月15日(日) 10時~11時	五戸町 又重地区	アピオス(マメ科の芋)の掘り取り(500gのお土産付き)	1,000円	小笠原 長生 TEL:0178-77-2287 〒039-1703 五戸町大字倉石又重字館町146-1
⑧ 柿もぎ・干し柿作り	11月22日(日) 9時~12時	五戸町 石沢地区	柿もぎをした後、干し柿作り(保存の仕方を指導)	1,500円	小村 喜幸 TEL・FAX:0178-77-2567 〒039-1701 五戸町大字倉石石沢字槍沢35-40
⑨ なべっこだんご作り体験	12月13日(日) 9時~12時	五戸町 豊間内地区	郷土料理「なべっこだんご」作り	1,000円	米田 エヤ子 TEL:0178-62-6558 〒039-1524 五戸町大字豊間内字志戸岸46
⑩ 門松作り体験	12月20日(日) 9時~16時	五戸町 上市川地区	1対の門松作り(昼食を持参してください) 限定10人まで	5,000円	佐々木 和弘 TEL:0178-68-2349 〒039-1501 五戸町大字上市川字大峯嶽27-2
⑪ 梅干し作り体験	22年1月17日(日) 10時~12時	五戸町 石沢地区	梅をシソの葉でくるむ。作ったもの1kgをお土産とするので入れ物(タッパー等)を持参してください。	2,500円	石ヶ森 和子 TEL・FAX:0178-77-2127 〒039-1701 五戸町大字倉石石沢字蟹沢36
⑫ うどん・串餅作り体験	22年1月21日(木) 10時~13時	五戸町 大森地区	うどんを作って郷土のダシ「すまし」で食べよう。串餅作り	3,000円	大久保 いと TEL:0178-62-7371 〒039-1502 五戸町大字切谷内字大森39-1
⑬ てまえ味噌作り体験	22年3月4日(木) 13時~15時	五戸町 カマラードの家	自分流の味噌作りの体験ができます。持ち帰り用の容器(タッパー等)を持参してください。	1,500円	カマラードの家(代表 竹洞 雅子) TEL:0178-77-3929 携帯:090-5835-7423 〒039-1703 五戸町大字倉石又重字下毛平43-2 HP http://www.camarada-house.com/

【お申込み方法】(1) 農作業体験内容については、上記計画一覧をご覧ください。(2) 実施日の1週間前までに、それぞれの体験申し込み先にお申込みください。(3) 体験は現地集合、現地解散となっています。申し込み後、当日準備するものと詳細をお知らせします。(4) 体験料は当日頂きます。



なべっこだんご作り



裂き織り体験



アピオス



しだれ桜



干し柿作り体験

農家民泊

1人7,000円(1泊2食)農作業体験付き

★農作業体験内容は、季節、受入農家の農業経営により異なりますので、ご希望がある場合はご相談ください。
★上記体験メニューとの組み合わせも可能です。
★1軒当たりの宿泊可能人数は4人です。1部屋になります。

⑭ つきの木荘(小村 喜幸) TEL・Fax:0178-77-2567 五戸町大字倉石石沢字槍沢35-40

⑮ 夢屋(浦屋敷節男) TEL・Fax:0178-77-2791 五戸町大字倉石中市字浦田35

⑯ むかいやま(向山 貴悦) TEL・Fax:0178-77-2554 五戸町大字倉石石沢字中道22-2

⑰ 漆戸リソ園(漆戸 亨) TEL・Fax:0178-77-3033 五戸町大字倉石又重字前平19

第41回 五戸町民運動会

9月27日(日) 8:50～
ひばり野公園陸上競技場

秋の全国交通安全運動 9/21(月)～9/30(水)

運動の重点

- 1 高齢者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時と夜間の
歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトと
チャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 飲酒運転の根絶

今月の納期

納期限 9月30日(水)

固定資産税 第3期

国民健康保険税 第3期

介護保険料 第2期

日	記念日等	行 事 等		
17 木		 Hot Center あ・そ・ぼ (ちびっこ広場) 10:00～12:00 町立公民館		
		 みんなの保健室 (健康相談) 13:00～15:00 役場福祉保健課		
18 金		 トコトコ教室 (川内地区) 9:30～11:30 瑞穂館		
		 1歳6か月児健康診査 (20年2・3月生) 12:30～12:50受付 総合病院 (1階講義室)		
		 五戸地区交通安全大会 13:30～ 町立公民館		
19 土				
20 日	家庭の日	 倉石牛焼肉の日 10:00～15:00 夢の森ハイランド		
21 月	敬老の日			
22 火	国民の休日	 絵本のへや 10:30～12:00 町図書館		
		 行政相談 13:30～16:00 町立公民館		
23 水	秋分の日			
24 木		 Hot Center あ・そ・ぼ (ちびっこ広場) 10:00～12:00 町立公民館		
		 みんなの保健室 (健康相談) 13:00～15:00 役場福祉保健課		
25 金		 トコトコ教室 (豊間内地区) 9:30～11:30 豊間内コミュニティセンター		
		 平成21年度五戸町戦没者追悼式 10:30～ 町立公民館		
26 土		 土曜セミナー「郷土歴史講座」④ 10:00～11:30 町図書館		
27 日		 五戸町民運動会 8:50～15:00 ひばり野公園陸上競技場		
28 月				
29 火				
30 水	交通死亡事故 ゼロを目指す日			

秋の全国交通安全運動

2009年 9月 平成21年

月間メモ

がん征圧月間

日	記念日等	行事等
1 火	県民交通安全の日 防災の日	● 五戸町敬老会（倉石地区） 11:00~14:00 倉石コミュニティセンター 👤 10か月児健康相談（20年10・11月生） 12:30~12:50受付 総合病院（1階講義室）
2 水	宝くじの日	● 五戸町敬老会（川内地区） 11:00~14:00 瑞穂館 👤 BCG接種 12:20~12:50受付 総合病院
3 木		👤 Hot Center あ・そ・ぼ（ちびっこ広場） 10:00~12:00 町立公民館 ● みんなの保健室（健康相談） 13:00~15:00 役場福祉保健課
4 金		● トコトコ教室（浅田地区） 9:30~11:30 浅水活性化センター ● 五戸まつり お通り
5 土		● 五戸まつり 中日 ● 五戸地方小・中学校親善相撲大会 9:00~15:00 五戸小学校相撲場
6 日		● 五戸まつり お還り ● 青森県民駅伝競走大会 12:00スタート 青森市
7 月		👤 Hot Center あ・そ・ぼ（あそぼタイム） 10:00~12:00 町立公民館 ● 五戸町敬老会（浅田・豊間内地区） 11:00~14:00 アピル五戸 👤 三種混合 <small>ジフテリア 百日咳・破傷風</small> 予防接種 12:20~12:50受付 総合病院
8 火		● 絵本のへや 10:30~12:00 町図書館 ● 五戸町敬老会（五戸地区） 11:00~14:00 アピル五戸 ● 行政相談 13:30~16:00 倉石コミュニティセンター
9 水	救急の日	👤 麻しん・風しん混合予防接種 12:20~12:50受付 総合病院
10 木		● 移動図書館巡回日 9:00~14:00 川内・浅田・倉石地区巡回 👤 Hot Center あ・そ・ぼ（ちびっこ広場） 10:00~12:00 町立公民館 ● みんなの保健室（健康相談） 13:00~15:00 役場福祉保健課
11 金		● トコトコ教室（旧町内地区） 9:30~11:30 町立公民館 👤 3か月児健康診査（21年5月生） 12:30~12:50受付 総合病院（1階講義室）
12 土		● お話会 14:00~15:00 町図書館
13 日		
14 月		👤 Hot Center あ・そ・ぼ（あそぼタイム） 10:00~12:00 町立公民館
15 火	高齢者交通安全の日	👤 2歳6か月児健康相談（19年2・3月生） 12:30~12:50受付 総合病院（1階講義室）
16 水		● 町民大学講座（全地区合同） ※介護とリハビリについて 13:30~15:00 町立公民館

このカレンダーは広報紙から外してご利用いただけます。

2009年 10月 平成21年

月間メモ

赤い羽根共同募金運動（～12月）

食生活改善普及月間

日	記念日等	行事等
1 木	法の日	 Hot Center あ・そ・ぼ（ちびっこ広場） 10:00～12:00 町立公民館
		● みんなの保健室（健康相談） 13:00～15:00 役場福祉保健課
2 金		● トコトコ教室（浅田地区） 9:30～11:30 浅水活性化センター
3 土		
4 日		
5 月		 Hot Center あ・そ・ぼ（あそぼタイム） 10:00～12:00 町立公民館
		 ポリオ（小児マヒ）予防接種 12:20～12:50受付 総合病院
6 火		 6か月児健康相談（21年2・3月生） 12:30～12:50受付 総合病院（1階講義室）
7 水		 BCG接種 12:20～12:50受付 総合病院
8 木		● 移動図書館巡回日 9:00～14:00 川内・浅田・倉石地区巡回
		 Hot Center あ・そ・ぼ（ちびっこ広場） 10:00～12:00 町立公民館
		● みんなの保健室（健康相談） 13:00～15:00 役場福祉保健課
9 金		● トコトコ教室（旧町内地区） 9:30～11:30 町立公民館
		 3か月児健康診査（21年6月生） 12:30～12:50受付 総合病院（1階講義室）
10 土		● お話会 14:00～15:00 町図書館
11 日		● 町民ソフトテニス大会 8:30～ ひばり野公園
		● 夢の森収穫感謝祭&倉石牛肉まつり（～12日） 9:00～16:00 小渡平公園
12 月	体育の日	
13 火		● 絵本のへや 10:30～12:00 町図書館
		● 行政相談 13:30～16:00 倉石コミュニティセンター
		● 人権相談 13:30～16:00 五戸町社会福祉センター
14 水		 三種混合〔ジフテリア 百日咳・破傷風〕予防接種 12:20～12:50受付 総合病院
15 木	高齢者交通安全の日	 Hot Center あ・そ・ぼ（ちびっこ広場） 10:00～12:00 町立公民館
		● みんなの保健室（健康相談） 13:00～15:00 役場福祉保健課
16 金		● トコトコ教室（川内地区） 9:30～11:30 瑞穂館